

環境報告書2015

札幌大同印刷株式会社



紀元前	
30000年頃	現在、知られる最古の洞窟壁画が現れる
4000年頃	古代バビロニアで押圧印刷が始まる
3000年頃	古代メソポタミアで文字を発明 古代エジプトで水草パピルスの茎を加工して書写の材料にする
2200年頃	古代エジプトで現存する世界最古のパピルス文書「パピルス・プリス」完成
1500年頃	フェニキア人がアルファベットの原型を発明する
1400年頃	中国で漢字の原型となる甲骨文字が使われ始める
300年頃	古代エジプトにアレクサンドリア図書館が造営され学術の中心地となる

紀元前	
100年頃	中国の蔡倫が実用的な漉き紙方法を確立し普及する
285年頃	日本に漢字と紙が伝わる
700年頃	中国で木版印刷が行われる
770年	現在製作年代が判明している世界最古の印刷物「百万塔陀羅尼」が日本で印刷される
1300年頃	中国で活字による活版印刷が始まる
1445年	ドイツのグーテンベルクが金属活字による活版印刷術を確立する
1810年	イギリスで蒸気機関を使った圧胴印刷機を開発し大量印刷が始まる
1837年	フランスのダケールが銀版写真法を発明する
1840年頃	ヨーロッパで紙の大量生産技術が確立される
1846年	アメリカのホーが輪転印刷機を製作し大量の新聞印刷が可能になる
1882年	ドイツのマイゼンバッハが交差スクリーンを完成する
1893年頃	アメリカのエジソンが謄写版印刷を発明する
1904年	アメリカのルーベルが紙に印刷する平版オフセット印刷を発明する
1918年	日本の築地活版製造所が邦文活字の鑄造を開始する
1924年	日本の石井と森澤により写真植字機が開発される
1950年	アメリカのPDi社がカラスキャナ（電子製版機）を実用化する
1959年	アメリカのハロイド社がPPC複写機を実用化する
1985年	アメリカのアルダス社がページメーカーにポストスクリプトとLeserWriterを組み合わせ DTP（Desk Top Publishing）の概念が誕生する
1996年	アメリカのコダック社がサーマルCTP（Computer to Plate）システムを製品化する

トップメッセージ

2016年4月14日夜に発生した熊本地震により被災されました皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

このたび札幌大同印刷は、「人と人をつなげ、豊かに」を私たちが新たな一歩を踏み出すビジョンとして、2016年1月1日に制定しました。

私たちの本業である印刷(ものづくり)を通して「伝えたい想い」を形にすることで、人と人をつなげ、地域をつなげ、文化をつなげ、そして歴史や伝統、世代間、地球環境など、印刷から始まる様々なつながりの連鎖にしっかり向き合い、私たちのつなげる技術で豊かにしていきたいという札幌大同印刷の想いが詰まっています。

印刷業界では、IT技術の目覚ましい進歩に始まり、人口の減少、生活様式や考え方など時代の変化によって大きな影響を受け、これまでの大量生産、大量配布の時代から、多品種、少量生産の時代へとめまぐるしく変化しています。常に変化が求められている厳しい時代だからこそ、札幌大同印刷は人と人との「縁」「絆」をより大切にし、何事にも積極的に行動して参ります。

2015年の動向として、古くなり製品として使えなくなった紙を札幌市内の児童会館で子どもたちに使ってもらうと寄贈を始めました。また、5回目となるチャリティイベント「えほんいち」では、ご参加していただいた地域の皆さま、ご協力ご支援していただいたお客さま、お取り引き先などと改めて札幌大同印刷とのつながりを深く実感することとなり、人と人との「縁」「絆」をより深くつなげることが出来たのではないかと考えます。

札幌大同印刷は、10年後20年後に向け、社員の想いを乗せた新しいビジョンのもと、つなげる技術を最大限に生かし、北海道の企業として持続可能な社会を将来世代につなげ、胸を張って引き継いで行ける企業、社会や時代に求められる企業を目指し、更なる努力を継続して参ります。今後とも、皆さまからのご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



札幌大同印刷株式会社
代表取締役社長

本間 翼

会社概要

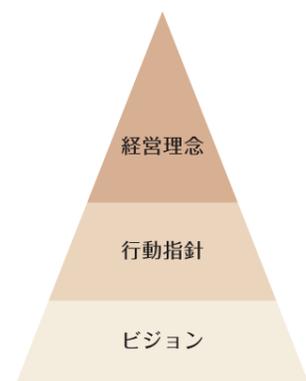
■ 商号	札幌大同印刷株式会社 SAPPORO DAIDO PRINTING CO.,LTD.	■ 創業	1954年8月10日(昭和29年)
■ URL	http://www.dioce.co.jp	■ 資本金	56,950,000円
■ 所在地		■ 従業員数	90名(2016年6月現在)

- 厚別本社／制作室・製造部 〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号 電話 011-897-9711 (代表)
- 豊平営業所／営業本部・企画室 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条5丁目2番25号 電話 011-823-6115 (代表)

■ 事業概要

- 商業印刷／パンフレット・リーフレット・カタログ・会社案内・写真集・雑誌・PR誌・会報誌・社内報・記念誌・書籍・チラシ・ポスター・メニュー・DM・名刺・封筒・POP・パッケージ・カレンダー 等
- デジタル関連／Webデザイン・システム開発・データベース構築・プログラミング 等
- その他／PR企画立案・マーケティング・ノベルティ・グッズ・DVD制作・屋内外広告看板・イベント事業の企画運営 等

札幌大同印刷株式会社が目指す企業像



人が進化し、文明の始まりから農耕文化とともに文字が生まれました。そして人から人へ伝えるために紙をつくり、広く伝えるために印刷技術を発明し、多くの試行錯誤を繰り返し印刷文化を発展させてきました。

札幌大同印刷は、先人たちの培われてきた印刷文化と技術を通して、人から人へ、人から社会へ、何らかの良い影響を与え続け社会に貢献して行きたいという経営理念のもと、皆さまに信頼され、選ばれる企業を目指して事業活動を行っています。

2016年1月から、新たなビジョン「人と人をつなげ、豊かに」を掲げました。全従業員が同じ方向にベクトルを合わせることで、これまで以上に良い製品とサービスの提供を心掛け、人と人をつなげ、豊かな生活文化や社会、そして地球環境への貢献を果たして成長し続ける企業を目指して参ります。

ビジョン

制定 2016年1月1日

人と人をつなげ、豊かに。

人と人がつながる時。

それは、お客様ひとりひとりの

人と街がつながる時。

「伝えたい想い」と

人と何かがつながる時。

しっかり向き合える会社であったこと。

そこにはいつも

ひとつひとつの工程で

「伝えたい想い」があります。

伝えたい想いをリレーし、

さわることも、見ることも

私たちにしかできないコミュニケーションを

できない人の想いを、

生みだしてきたからではないでしょうか。

ある時は手ざわりのあるもの、

たくさんの伝えたい想いをつなげたい。

ある時は見て楽しむもの、

人と人、人と街、人と新しい何かを

読んで心が揺さぶられるものへと

ものづくりでつなぐ専門家。

生まれかわるよう、

そんなしあわせな職業であることを自覚し、

私たちは印刷技術を通して

つなぐ技術で人を、街を、豊かにしていきたい。

ものづくりを続けてきました。

特別な何かを持っているわけでもない

新たな一步を踏み出す

北海道の一企業でありながら、

札幌大同印刷の想いです。

60年以上にわたって続けられた理由。

経営理念 私たちは 表現・言論・出版の自由を守り
印刷文化を通して 健全な社会の発展に貢献する

行動指針 私たちは お客様の志向を十分に認識し喜ばれ
信頼される企業を創造する

私たちは 職業人としての誇りと自覚をもって
自己の能力を研鑽し発揮するよう努力する

私たちは 互いの人間性を尊重し
幸福の実現を目指す

環境方針

制定 2003年3月1日 改訂 2009年3月1日

理念

私たちは、健全で美しい地球環境の保全を最重要課題のひとつととらえ、印刷及び印刷関連事業、マルチメディア事業の推進と、地球環境保全との調和に努め、地球に優しい事業活動を継続して実践し、豊かな自然環境を将来世代へ引き継ぎ、北海道の企業として快適な地域社会の実現に貢献します。

基本方針

1. 事業活動全般によって生じる環境への影響を認識し、環境目的・目標を定め、環境汚染の予防を含め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 事業活動全般にかかわる環境関連の法律、規制、協定等を順守するとともに、自主基準を定めて管理し、環境リスクを回避します。
3. 環境保全のため、次の項目を環境管理における重点テーマとして取り組みます。
4. 環境方針を達成するため環境目的・目標を設定し、全事業所・全従業員をあげて環境管理を推進します。
5. 環境方針は札幌大同印刷で働く、または組織のために働くすべての人に周知し、環境保全の意識向上に努めます。また、利害関係者への周知により環境マネジメントシステムの理解と協力を要請すると共に一般の人にも開示し、入手可能とします。

環境管理における8つの重点テーマ

- 1) 省資源・省エネルギーの推進
- 2) 車両による排出ガスの管理と削減
- 3) 製造過程で使用する有機溶剤などの管理と削減
- 4) 廃棄物の管理と削減、リサイクル化
- 5) 製品事故の削減
- 6) 環境に配慮した資材、企画の提案とお客様サポート
- 7) 環境情報の公開
- 8) 地域社会への貢献

こども サポートペーパー

子どもたちのワクワクをサポート



印刷用紙を印刷機械毎のサイズ大きさを合せて断裁する際に発生する端切れやオンデマンド印刷で発生する印刷予備紙の余り、古くなって黄色く変色してしまい、製品としての使用が出来なくなった印刷用紙などを、異年齢集団での遊びを通じた仲間づくりや子どもたちの校外（放課後）生活を豊かにし、地域の交流を深めることを目的とした札幌市児童会館の活動に役立てていただこうと三里塚小ミニ児童会館・エルムの森児童会館の2館それぞれに

A3換算で約1,200枚の紙を寄贈しました。三里塚小ミニ児童会館では福笑いを、エルムの森児童会館では川柳を行い、子どもたちが楽しく活動出来たとの報告をいただきました。札幌大同印刷は、子どもたちが自由に利用でき、遊びを通して楽しく学べる札幌市児童会館の活動を、これからも応援して参ります。

TOPICS-03

本社照明をLED化

電力や二酸化炭素の削減、長寿命による資源の節約、蛍光灯に含まれる水銀・鉛・カドニウムが含まれないことから廃棄が容易といわれるLED照明を、印刷時に適正に色を確認するために必要な照明以外の蛍光灯約90%を厚別本社に導入しました。これにより厚別本社の照明だけではありますが、約54%の電力消費量が削減されました。



チャリティー えほんいち

あなたのえほんが だれかのえほんに えほんとおもいを ひとからひとへ



現代の子どもたちに、デジタル化した書籍では味わうことの出来ない、私たちが小さいころに触れた絵本の質感や香りなど、紙の持つ魅力を再発見していただこうと、5回目となる「チャリティー えほんいち」を、2015年9月10日札幌ドームスポーツイベント内にて開催しました。イベントでは、絵本の販売とともに、えほんづくり教室を行い88人が参加。えほんづくりを通して短い時間ながら参加されたご家族との交流を図ることができました。

絵本の販売数381冊、売り上げ総額46,700円となり、子どもたちの健全育成を図る活動に役立てていただこうと、売り上げを「札幌市さぼーとほっと基金」に寄付いたしました。絵本をおゆずりいただいた皆さま、ご来場していただいた皆さま、ご協力ご支援していただいた皆さまに、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

TOPICS-04

生物多様性さっぽろ応援宣言

事業活動や私たちの暮らしは、水や空気、食材、木材など生物多様性がもたらす様々な恵みに支えられています。その一方で、私たち人間活動の影響によって、1年間に4万種の生き物が絶滅していると言われてしています。札幌大同印刷は、失われつつある生物多様性は、地球温暖化と並ぶ深刻な問題として捉え、その保全と持続可能な利用に向けた取り組みをすることを宣言いたしました。



環境方針重点テーマの目標と実績

環境保全活動を推進するため、札幌大同印刷の環境方針に基づき重点テーマから目標を12項目に定め、事業活動すべてが地球環境とつながっていることを意識し、環境保全活動に努めています。

2015年度 環境目的・目標の達成状況

環境方針重点テーマ	環境保全活動目標	2015年度実績	評価
省資源・省エネルギーの推進 環境方針-3(1・2)	電力使用量の削減	クールビズ等を実施 使用量 前年度比 90.14% 9.86%削減	●
	コピー用紙使用量の削減	校正の電子化・在庫管理の徹底を実施 使用量 前年度比85.81% 14.19%削減	●
	印刷予備紙の削減	損紙等の再利用を実施	●
	エコドライブの推進	エコドライブの研修と実施・低公害車の導入を実施	●
化学物質の管理 環境方針-3(3)	揮発性有機化合物(VOC)の削減	環境対応品調査検証を実施したが代替品の該当はありませんでした	▲
循環型社会形成の推進 環境方針-3(4・5)	廃棄物の管理・削減	リサイクル化の推進を継続 排出量 前年度比 79.34% 20.42%削減	●
	製品事故の削減	工程毎チェックリストの添付・掲示・5S運動の徹底 発生件数 前年度比 7件増加	▲
環境パートナーシップの推進 環境方針-3(6)	大同特色インキの提案	特色インキでの印刷をご希望の際に提案を実施	●
	環境にやさしい紙の提案	環境ラベル系印刷用紙ご検討の際に提案を実施	●
	環境配慮型製品の提案・サポート	印刷物以外のノベルティ製作等の受注時に提案を実施	●
	環境情報の公開	環境報告書の発行・ホームページでの情報公開	●
	地域社会貢献活動	環境報告書展・キャンドルナイト・ごみ拾い・環境科学展等に参加協力 札幌市円山動物園の応援グッズ製作販売	●

※自己評価 ● 目標達成 ▲ 目標未達成

事業活動による環境データ

事業活動に必要な資源やエネルギー、それともなう廃棄や排出量など、様々な環境負荷のデータを集計して把握し、多岐に渡る環境影響を評価し、札幌大同印刷の環境目的・目標に反映しています。

INPUT (投入) OUTPUT (排出)

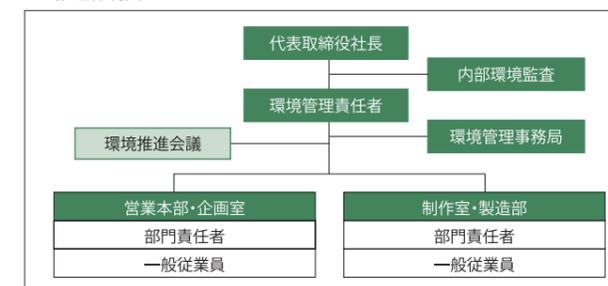
INPUT (投入)	SAPORO DAIDO (事業内容)	OUTPUT (排出)
エネルギー 電気 334,685 kw ガス 238.0 m ³ 灯油 6,612 L ガソリン 16,336 L	営業本部 物品やサービス、情報、人などを結びつけます。 企画室・制作室 ■ 企画 お客様に合わせたコンセプトをまとめ、企画立案します。 ■ 制作・編集 コンセプトに沿ったビジュアルや文章などを駆使し、表現します。 ■ 製版(出力) テキストや画像データなどを適切な印刷用のデータに変換します。 ■ 刷版 校了となった印刷用に変換されたデータを、印刷用の原版にします。 ■ Web ホームページやプログラムの企画制作をします。	二酸化炭素 (CO2換算) 電気 119,483 kg ガス 523.0 kg 灯油 16,596 kg ガソリン 37,736 kg 合計 174,338 kg
資材・原材料 印刷用紙 環境ラベル系印刷用紙 20.9 t 一般印刷用紙 629.1 t 合計 650.0 t 印刷インキ (植物油インキ) 7,049 kg コピー用紙 (A4換算) 348,125 枚 刷版PS版 7,970 kg 製本針金 115 kg	製造部 ■ 印刷 印刷原版を印刷機に設置し、お客様の要求を印刷で再現します。 ■ 製本・加工 刷り上がった印刷物を、断裁、折り、製本など、最終的な製品に仕上げます。 ■ 梱包・納品 完成した製品を、お客様の指定する形に梱包し、期日までに指定の場所にお届けします。	廃棄物 一般廃棄物 36.49 m ³ 再生資源 (有価物) 古紙 183,510 kg アルミ版 7,700 kg 合計 191,480 kg 再生資源 (産業廃棄物) 金属くず 58 kg 廃アルカリ 2,717 kg 焼却・埋立 (産業廃棄物) 紙くず (再生不可) 10,270 kg 廃油 (インキ類) 3,318 kg 廃油 (機械洗浄油) 2,142 kg 合計 18,505 kg
化学物質 刷版現像液 250 L 印刷溶剤 7,777 L トルエン 280.0 kg		

環境マネジメント概要

■ 環境保全推進体制

環境マネジメントの運営を推進するためにPDCAサイクルを継続的に行い、役割と権限を明確にし、環境管理事務局・各事業所の環境保全担当者と連携を図って環境保全に努めています。

■ 推進体制図



■ 環境教育

環境保全の基礎知識や自覚の向上を図るため、全従業員を対象に環境教育を実施しています。また、様々な環境問題への取り組み方などを掲示、配布するなど、継続的に従業員への啓発を行っています。



■ 法令等の順守

札幌大同印刷の事業活動、製品及びサービスにおいて、環境関連法規制や地域の条例・協定などを順守することはもとより、自主基準を設けて環境汚染の未然防止に努めています。2015年度において、環境関連法規制等に関する違反や指摘、指導などはありませんでした。

用語解説

■ 損紙

印刷や製本作業中のさまざまな要因から、製品として使用できなくなった用紙のことで、印刷業界では別名ヤレともいう。

■ 環境ラベル系印刷用紙

再生紙使用マークやエコマークなど、印刷用紙に添付されたラベルで、製品やサービスが環境に配慮されたことを示す情報が表示された印刷用紙を指しています。

■ 5S活動 (整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字 S を取ったもの)

整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字 S を取ったもの。表示での見える化などにより、無駄な作業や過剰在庫、紛失などがなくなり、安全で効率的な職場環境となる。

■ 一般印刷用紙

はじめから木材を原料として製造したパルプから出来た、環境ラベルが表示されていない印刷用紙を指しています。

■ 揮発性有機化合物 (VOC=Volatile Organic Compoundsの略語)

印刷機械の洗浄剤に含まれるトルエンなどの物質で、大気中の光化学反応により光化学スモッグを引き起こす原因物質の一つとされています。

■ PS版 (Prsensitized Plateの略語)

紫外線により感光する感光層をアルミ板に塗布したもので、オフセット印刷の感材として使用される。

環境保全活動の概要

地球温暖化の防止や生物多様性の保全、循環型社会形成の推進、環境汚染の予防、環境への配慮を考えた提案など、事業活動において私たちが継続して出来る環境保全対策に取り組んでいます。

省資源・省エネルギーの推進

■ 電力使用量の削減

従来の製版工程を大幅にカットし、パソコンで作成したデータを刷版で印刷の原版となるPS版に直接データを焼き付けるCTPを導入しています。これにより、制作・出力・刷版まで作業工程時間を短縮し、製版用の機材、資材及び電力、廃棄物を削減するとともに品質の安定にもつなっています。

2015年は、印刷機械と比較すると僅かですが、厚別本社の照明約90%をLEDに切り替えたことで、照明に掛かる電力消費量が54%削減され、2015年度は前年比から9.86%削減することができました。

■ コピー用紙使用量の削減

お客さまとの校正にコピー用紙が多く使われることから、簡単な確認の場合には出来るだけPDFデータにし、メールで校正をやり取りするなどに努めています。

また、コピー用紙の発注ラインを決めて表示し、在庫管理の見える化や製本工程時に発生する印刷用紙の断裁紙片を有効的に活用するなど日常の取り組みを行い、前年比から14.19%削減することができました。

■ 印刷予備紙の削減

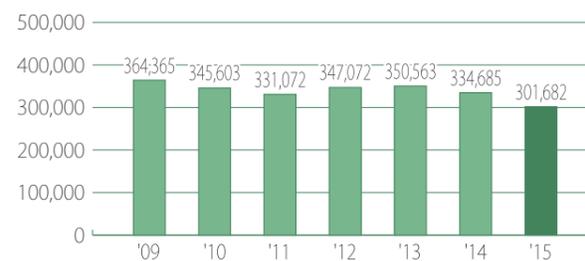
印刷の準備段階にて、4色それぞれの版の見当を合わせたり、インキの濃度を合わせるなど、お客さまよりご依頼いただいた枚数の他に紙が必要となることから、予備紙の削減に努めています。また、印刷機械やCTPの導入により、印刷準備段階での機械性能や作業効率が向上し、印刷予備紙の削減につながっています。

■ エコドライブの推進

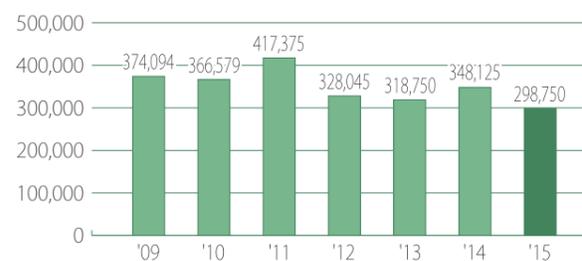
営業活動やメッセンジャーが使用する自動車からの二酸化炭素排出を抑制するため、駐停車時のアイドリングストップや冬場の暖機運転の時間短縮、不要な荷物を降ろして自動車を軽量化にするなどに努めています。

また、自動車の導入時には低排出ガス基準レベル認定自動車を選択するなどに取り組んでいます。

■ 電力使用量 (kw)



■ コピー用紙使用量 (A4換算/枚)



循環型社会形成の推進

■ 廃棄物の管理・削減

購入前に長く使えるものを考慮するなど、環境への負荷を低減するためにグリーン購入を推進しています。

また、事業活動で排出される産業廃棄物は適正に処分するために、処分終了までの監視をマニフェスト管理票にて管理するとともに、継続して削減に努めています。

■ 製品事故の削減

製品事故は、資源の再投入と廃棄物の増加を招くことから、製品事故を未然に防ぐため、作業チェックリストを作成するなど、製品事故の予防対策を行っています。また、在庫の紛失などといった事故をなくすために5S活動の推進を図っています。

製品事故発生の際には、速やかに原因の究明と対策を講じ、情報の水平展開に努めていますが、2015年度は前年比で7件の増加となり、基本動作確認と情報伝達の徹底を図っていきます。

環境パートナーシップの推進

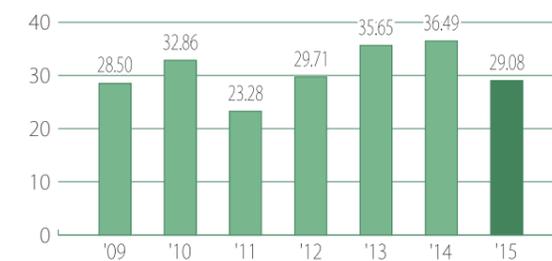
■ 環境に配慮した印刷物などの提案・サポート

無駄になるインキを極力減らすために、使用頻度の高い特色インキ専用見本帳の中からお選びいただく大同特色インキの提案を行っています。また、環境にやさしい紙の提案では、環境ラベル系印刷用紙の提案に努めています。

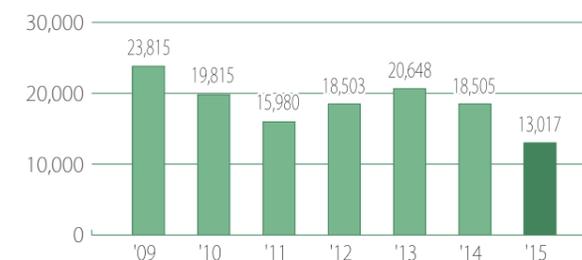
インキ・紙以外でも、印刷時に風力や太陽などで発電された電力を購入して印刷する「グリーン電力制度」や印刷時に排出される二酸化炭素とオフセットする「カーボンオフセット制度」、東日本被災地復興を応援する「震災復興型カーボンオフセット用紙」など、環境に配慮した提案及びサポートをお客さまに行っています。



■ 一般廃棄物排出量 (m³)



■ 産業廃棄物排出量 (kg)



化学物質の管理

■ 揮発性有機化合物(VOC)の削減

札幌市条例の規制対象となる、オフセット印刷機械に付属するブランケット胴洗浄用溶剤に含まれる揮発性有機化合物(VOC)トルエン・IPA使用量の把握し、手順に基づいた日常管理の徹底に努めるとともに、環境対応品への転換を図るため代替品の検証に取り組みましたが、2015年度も代替品はなく、今後も調査・検証を継続し、適正な管理と排出量の削減に努めています。



用語解説

■ CTP (Computer To Plateの略語)

パソコンで作成したデータを、中間工程である従来の製版フィルムに出力せず、コンピュータから直接印刷機で使用するPS版にレーザーで焼き付ける方法。

■ 製版

版下を専用のカメラでフィルムに撮影し、プリンターで反転しながら色毎に分版するなどして、印刷用の版を作る従来の方法。

■ PS版 (Prsensitized Plateの略語)

紫外線により感光する感光層をアルミ板に塗布したもので、オフセット印刷の感材として使用される。

■ 低排出ガス基準レベル認定自動車

NOx(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)など排出ガス低減に向け、国が定めた自動車の排出ガス基準に対応した低排出ガス車制度の認定を受けた自動車。

■ 見当合わせ

表裏の位置や同一印刷面の各色がずれないように位置を合わせること。

用語解説

■ マニフェスト管理票

産業廃棄物の収集・運搬、中間処理、最終処分などを委託する場合、排出者が委託者に対して適正な処理が行われたことを確認する管理票のこと。

■ オフセット印刷

PS版からインキを直接ではなく、一度転写してからインキが移される印刷方式。特殊な物を除いて、現在の平版印刷はこのオフセット形式が主流である。

■ 環境ラベル印刷用紙

環境に配慮した印刷用紙。古紙の利用促進を目的とした再生紙使用マーク・環境に役立つと認められたエコマーク・古紙再生を促進するグリーンマークなどの印刷用紙のこと。

■ ブランケット胴

オフセット印刷機の胴のうち、印刷版を生むゴムブランケットを巻いた中間胴の事。版胴上の画像は一度このブランケット胴に転移され、さらに紙に再転移されます。

■ カーボンオフセット

日常生活や経済活動によって排出された温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせること。

環境コミュニケーション

社会の一市民として、地域社会に根ざした活動をコミュニケーションを通じて応援するとともに、経営理念に掲げる「印刷文化を通して 健全な社会の発展に貢献」してまいります。

ラブアース・クリーンアップ in 北海道

私たちの北海道を私たちの手で、世界一きれいな場所にする、全道一斉ごみ拾いのムーブメント。地球の環境を大切にすることを「ごみ拾い」という、誰でも参加できる身近な行動で表現し、より良い北海道の環境を未来につなげて行こうという呼びかけに賛同して毎年参加しています。

今年も6月の環境月間に合わせ、厚別本社は6月8日に、豊平営業所は6月12日に総勢65名が参加して会社周辺のごみ拾いをしました。参加した従業員からは「きれいになった会社周辺をみて、やって良かったと思った」「普段話す機会のない他部門の人と交流ができた」など、身近な環境問題への意識啓発や社内コミュニケーションにもつながっています。

主催：NPO法人北海道市民環境ネットワーク



さっぽろキャンドルナイト

2015年6月22日夏至の日。1年中で一番昼が長い夏至の日の夜8時から10時までの2時間、「電気を消してスローな夜を過ごそう」と、札幌市内で行われる様々な取り組みを「広く市民に知らせる」ということで、「世界に誇れる環境文化都市さっぽろ」の実現を目指そうという呼びかけに賛同し、毎年参加しています。

札幌大同印刷では、従業員の残業抑制を呼びかけるとともに、お客さまやお取引先、従業員の家族などにキャンドルやパンフレットを配布して参加を呼びかけ、参加することで従業員はもちろん、札幌大同印刷に関わる人々への啓発にもつながり、省エネだけでなく、様々な環境や社会の問題を考え、楽しく行動するきっかけとなっています。

主催：さっぽろキャンドルナイト実行委員会

地球温暖化ふせぎ隊ボランティア研修

2015年11月4日環境教育事業、地球温暖化ふせぎ隊のボランティア研修にて、企業がものづくりをする上で行われている環境への取り組みを、札幌大同印刷の環境報告書や印刷物、印刷資材、各企業の環境報告書やCSRレポート、身近にある商品などを用いて企業の環境への取り組み、製品の環境進化する経緯や背景などを紹介させていただきました。

主催：公益財団法人北海道環境財団

なまら便利なバスマップの配布

環境保全や健康促進のためにモビリティ・マネジメントを通して作成され、札幌市内全域の公共交通路線図で、バス・地下鉄・電車・JRすべてを網羅した便利なマップで、今回から新千歳空港連絡バス・丘珠空港連絡バスも掲載された「なまら便利なバスマップ」を札幌大同印刷の2事業所で配布しています。

主催：NPO法人ゆうらん



第9回 環境科学展

2015年10月24日(土)25日(日)の2日間、札幌市青少年科学館で環境問題や保護に関する団体や企業の取り組みを紹介しながら、環境について楽しく学ぶ環境イベントが開催され参加しました。

イベントでは、札幌大同印刷の環境報告書や印刷用紙の端の余った部分の紙をメモ帳にして配布したり、子どもたちには当社オリジナルの「どうぶつぬりえ」や「ビビットマン」のダイジェスト版ぬりえで動物たちに自由に色をつけてもらいました。2日間で約5,500人が訪れ大盛況となりました。

主催：札幌市青少年科学館

環境報告書展

事業者と社会を結ぶ環境コミュニケーションの重要なツールである環境報告書などを収集し、市民などに広く公開して取り組みを知ってもらおうと、2015年1月22日～26日の間「つながるひろがる命の輪」と題して、札幌市地下歩行空間「憩いの広場」で環境報告書展が開催され、札幌大同印刷の環境報告書を展示・配布しました。

また、1月27日～2月2日の間、札幌エルプラザに移動し、生物多様性に関するパネルなどとともに展示・配布しました。

主催：札幌市環境局 札幌市エルプラザ

札幌市円山動物園応援グッズ

未来を担う子どもたちが、地球のことや動物たちの未来のことを楽しく考えるきっかけづくりとして、シロクマやレッサーパンダなど、円山動物園にいる動物たちをモデルにした「どうぶつぬりえ」「ZOONOTE」を、札幌市円山動物園公認グッズとして制作販売し、収益金の一部を動物たちの食べ物代として札幌市円山動物園に寄付しています。

製作販売：札幌大同印刷株式会社

環境啓発印刷物の配布

札幌大同印刷の本社正面玄関にて、地域社会や環境などの問題に取り組む市民団体や行政機関などのパンフレットや、イベントやセミナーの告知を紹介するなど、社内外に啓発をしています。

情報提供：札幌大同印刷株式会社

割り箸リサイクル活動

使い終わった割り箸が紙の原料に生まれ変わることから、社内で使用済みの割り箸を回収しています。この活動により少しでも社内のごみが減るとともに、資源を大切にできる意識付けにもつながり、リサイクル活動にも役立てられています。

回収先：王子エフテックス株式会社 江別工場

環境に配慮した印刷物の実績例

再生紙など環境に配慮された紙や震災復興型カーボンオフセット用紙などの使用や、印刷時の電力を風力やバイオマスなど自然エネルギーから発電されたグリーン電力で行うなど、環境に配慮して作られた印刷物の一例をご紹介します。



- NPO法人北海道グリーンファンド様
「知って良かった!」エコ住宅・省エネルギーフォーム -1
「知って良かった!」リフォーム・イノベーション -2
- 札幌エルプラザ公共4施設様
エルプラまつり2015 -3
- 一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団様
Health & スポーツ Life -4
- 公益財団法人北海道環境財団様
未来につながるまつりプロジェクト -5
- NPO法人ゆうらん様
なまら便利なバスマップ -6
- 札幌市市民活動サポートセンター様
ち・か・ホでほっこり♪ まちづくりワクワク祭 -7
- エコ育広場実行委員会・札幌市環境プラザ様
エコ育広場 2015 -8
- 株式会社札幌ドーム様
CSRレポート2015 -9
- 札幌市青少年科学館様
環境科学展 ~環境について考える2日間~ -10
- さっぽろキャンドルナイト実行委員会様
さっぽろキャンドルナイト2015年 広報物 -11
- 環境省北海道地方環境事務所様
ウトナイ湖 野生鳥獣保護センター -12
宮島沼 水鳥・湿地センター -13
- 環境省北海道パートナーシップオフィス様
事業案内パンフレット -14

安全で安心な社会と職場を目指して

情報管理の徹底を図り、付加価値の高い製品・サービスの提供に努め、従業員の能力が発揮できる職場環境づくり、人が輝ける会社づくりを目指してまいります。

個人情報保護への取り組み

札幌大同印刷は、情報化社会において、お客さまの安心の提供及び社会的責任を果たすことが使命と考え、「個人情報保護方針」を定め、2006年よりプライバシーマークの認証取得をしています。お客さまからお預かりする個人情報を適切に扱うため、事業所毎に管理体制を整え、個人情報の取り扱いを台帳で管理し、情報の内容や形態に応じた保護対策を図り、想定されるリスクに応じた管理を行っています。また、内部PMS監査を実施し、事業所毎に個人情報の取り扱い実施状況を確認し、問題があれば速やかに改善を行うとともに、全従業員への個人情報保護に関する教育を実施しています。2015年度において、個人情報の漏洩事故はありませんでした。

札幌大同印刷「個人情報保護方針」については、下記ホームページにてご覧いただけます。

- 札幌大同印刷プライバシーポリシー
www.dioce.co.jp/daido/privacy.html



ハラスメントへの取り組み

職場における様々なハラスメントは、労働者個人の尊厳を不当に傷つけ、能力の発揮を妨げ、会社にとっても職場の秩序や仕事の遂行を阻害し、社会的評価に大きく影響を与える問題として札幌大同印刷では、職場でのハラスメントを「起こさない、起こさせない」ために、男女雇用機会均等法および札幌市男女共同参画推進条例に基づき、「セクシュアルハラスメントの等防止に関する基本方針」を定め、社員一人ひとりがハラスメントなどに関する正しい知識と理解で快適な職場環境をつくるために、全従業員を対象に教育を行っています。また、一人で問題を抱えることのないよう従業員のプライバシーを守り、相談に対応するために、事業所毎に相談窓口を設け、従業員が働きやすい職場環境づくりを目指しています。

事故・災害などの緊急事態対応

地震などによる自然災害、火災や印刷などに使用される溶剤・灯油の流出など、各事業所で起こりうる緊急事態を想定して対応手順を定め、全従業員を対象に教育や訓練を実施しています。万一発生した場合には、手順に沿った行動に移すとともに、原因の究明や予防対策を見直し、事故の再発防止に努めます。

札幌大同印刷株式会社「環境報告書2015」報告書概要

■ 環境報告書発行の目的

札幌大同印刷は、環境保全活動の情報を開示し、発信することが、私たちを支えていただく多くのステークホルダーと対話を行うために重要なコミュニケーションツールとして位置付け報告するものです。限られた誌面の中で活動のすべてを掲載することは出来ませんが、私たちが取り組む等身大の環境保全活動報告として、ご理解をいただければ幸いです。

■ 報告書の仕様

本報告書は、環境への負荷軽減を図るため、小ロット印刷に適したオンデマンド印刷を採用し、印刷時の電力使用量と印刷用紙を抑制しました。また、報告書用に改めて印刷用紙を発注するのではなく、事業活動の中で余ったり古くなって製品として使用出来ない印刷用紙を使用しています。また、より多くの人が見やすいように、色づかいなどに配慮したデザインを心掛けて作成しました。

表紙デザイン・イラスト ゴトウマキエ

■ 本報告書に関するお問い合わせ

札幌大同印刷株式会社 厚別本社 環境管理事務局
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目1番1号
TEL 011-897-9711 FAX 011-897-9715
□ 札幌大同印刷 HP
<http://www.dioce.co.jp>
□ 環境情報 Ecology Report
<http://www.dioce.co.jp/daido/iso/>

■ 対象期間

2015年1月1日～12月31日
2015年度の活動を中心としましたが、一部の項目については過去及び現在継続中の物も含まれております。

■ 対象範囲

札幌大同印刷株式会社における環境保全活動や実績を中心に掲載しています。